



みやぎ **MIYAGI** 県老連 だより

財団法人宮城県老人クラブ連合会

通 巻

96号

2013.1.1



【目次】

巻 頭／新春のご挨拶

特 集／平成24年主要事業カレンダー

ねんりんピック宮城・仙台2012「地域文化伝承館」

第33回宮城県老人クラブ大会七ヶ浜大会



新春のごあいさつ

財団法人宮城県老人クラブ連合会

会長

坂本 せん

謹んで、新春のお喜びを申し上げます。

会員のみなさま、県老連運営については日頃の御協力、誠にありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

二度目の新年となりました被災地のみなさまには、厳しい寒さのなか、少しでも良い年になりましようにとお祈りいたしております。

宮城県老人クラブ連合会は、災害により1万人を超す会員減となり、現在、会員は、5万4千人となっております。

一日も早い復興を願いながら事業を進めてまいりましたが、全国老連700万人会員の方々より多額のお見舞金ならびに数多くの元氣袋をお届けいただき、どんなにか元気づけられたかわかりません。皆さんと共に深く感謝申し上げます。ま

た新潟県老連からは特別のお見舞いもいただきました。

老連の事業としては、初めての経験となりました「ねりんピック」が宮城県で開催されました。老人クラブ主管の『地域文化伝承館』については、県内老人クラブ総結集の力が発揮され、予想を上回る盛況で終わりました。みなさま、本当にありがとうございます。

この大会は正式には「全国健康福祉祭」といい、主として60歳以上の方々に参加する年1回、各県持ち回りで開催しており、宮城県は大会に向け準備中震災となり予定の会場にも支障をきたし、開催が危ぶまれたようでした。しかし、県としては全国から寄せられた多くの支援に感謝し復興に向けて頑張っている姿を見てもらいたい、さらに「ねりんピック」を楽しみ

に待っている全国たくさんの高齢者の気持ちにに応えたいと開催に踏み切ったと思います。

開会式には、仙台市陸上競技場を埋め尽くす選手団その数8千人が集い、高齢者パワーの結集でありました。

幸い、3日間とも好天に恵まれ、老連主管となる『地域文化伝承館』に於いても開会式から閉会式までの3日間を予定どおり盛会に無事終わることができました。

初日、会場には常陸宮殿下・同妃殿下の御来場を仰ぎ励ましのおこたばをいただきました。お迎えいただいたみなさま、大変ご苦労さまでした。

今後は、本大会を機にますます健康で生きがいをもって暮らし社会参加する高齢者が増えることを願っております。

また全老連に於いては、昨年10月4日東京日比谷

公会堂を会場に天皇后両陛下のご臨席をいただき創立50周年大会が開催され、本県に於いても10月22日七ヶ浜町に於いて50周年大会が開催されました。

振り返ってみますと、創立当時は保護と慰労が中心でしたが、高齢社会に於ける現代は老人クラブへの期待は大きく、老人クラブは地域に於いて自助と互助の重要な担い手として、積極的な活動の取り組みが期待されております。

会員のみなさま、この期待に応えるべく単位クラブ毎の会員増に努め、楽しいクラブになりますことをよろしく願います。さらに被災地の復興加速が一日も早くと願ってご挨拶いたします。

平成25年1月

平成 24 年 宮城県老人クラブ連合会 主要事業カレンダー



坂本県老連会長から記念品を贈呈

東日本大震災関連

【4月5日】

山形県老連へ震災復興支援に関わる御礼

復興支援への感謝

平成24年4月5日（木）

東日本大震災のサポート及び元気袋、災害見舞金等に対する謝意を表するため、宮城県老連坂本会長が仙台市老連橋本会長と共に山形県老連を訪問。山形県老連の亀谷副会長、佐藤常務理事、高橋事務局長等と懇談し支援に対する感謝を伝え記念品を贈呈しました。

女性リーダー活動

【4月27日】

女性委員会（仙台市青葉区）

【8月31日】

女性リーダーセミナー（仙台市青葉区）

評議員会・理事会

【5月18日】

評議員会

【5月24日】

理事会

【9月28日】

評議員会・理事会

高齢者相互支援事業

【6月15日】

高齢者相互支援連絡会議（仙台市青葉区）

【12月5日】

シルバリーリーダー研修会（仙台市青葉区）

健康づくり研修会（7会場）

【7月2日】

大崎

【7月23日】

気仙沼・本吉

【7月30日】

登米

【9月4日】

石巻

【9月6日】

仙台地区

【9月10日】 仙南

【9月13日】 栗原

北海道・東北ブロック関係

【4月12・13日】

北海道・東北ブロック老連会長・局長合同会議（秋田県）

【7月12日】

東北ブロックリーダー研修会（盛岡市）

ねんりんピック

【6月19日】

第3回実行委員会（仙台市青葉区）

実行委員会会場視察（夢メッセみやぎ）

【9月5日】

第4回実行委員会（仙台市青葉区）

【10月13日】

地域文化伝承館開館（15日）

P. 6 関連記事

◆ねんりんピック宮城・仙台2012「地域文化



「地域文化伝承館」展示ブース

伝承館」の開設

10月13日（土）から15

日（月）の3日間にわたり「ねんりんピック宮城・仙台2012」のイベントとして「地域文化伝承館」を開設。「健康に感謝！

仲間に感謝！ふるさとに感謝！絆に感謝！」のスローガンのもと東日本大震災下の全国から寄せられた支援に感謝するとともに、復興への意気込みを示すことができました。

特に被災地老連からの出展、出演には、来館された皆様から大きなご声援とお励ましの言葉をい



「地域文化伝承館」ステージ

いただきました。

地域文化伝承館の入り口には、全国老人クラブ連合会から贈呈のあった「震災復興応援旗」を掲しました。

エイジライフ伝達式

【9月20日】

七ヶ浜町老連シルバリーダー会（県保健福祉部長室）

認知症サポーター養成講座（4会場）

【9月24日】 美里
【12月6日】 村田
【12月10日】 金成

【12月14日】 米山

老人クラブ大会

【10月4日】

全国大会（東京・日比谷公会堂）

【11月22日】

宮城県大会（七ヶ浜国際村） P. 8 に関連記事

◆震災復興応援旗の被災市町老連への伝達

11月22日（木）に被災

地の七ヶ浜町「七ヶ浜国際村」において開催された宮城県老連50周年記念・宮城県老人クラブ大会を開催。全国老人クラブ連合会から贈呈された「震災復興応援旗」を沿岸の15市町老連に伝達しました。

坂本せん会長から被災老連を代表して石巻市老連相澤副会長に応援旗が伝達されました。

舞台隅に、県老連受領の応援旗と合わせて掲示された応援旗が県内全域から集まったおよそ

600名の会員に披露されました。



「震災復興応援旗」を坂本県老連会長が被災地老連に伝達。被災老連代表は石巻市老連相澤副会長



大会宣言朗読のため登壇した石巻市老連の武山萬会長から被災地を代表して「被災地頑張れと全国の皆様方から寄せられたこの復興応援旗を感謝を込めてすべての行事に掲げていきたい」との謝辞がありました。

シニアスポーツ大会

【10月31日】 大崎市

◆シニアスポーツ大会の開催

10月31日（金）大崎市松山の「スポーツピアまつやま」を会場にシニアスポーツ大会を開催し、被災地を含む32の市町村老連から選手・関係者約750名が参加し盛大に



シニアスポーツ大会



シニアスポーツ大会

行われました。

会場では全国老人クラブ連合会から本県に贈られた「震災復興応援旗」が掲げられ、会員が一丸となつてグラウンドゴルフとゲートボール、ペタンの3競技を通じて高齢者の健康保持・増進と相互の親睦を図りながら、震災復興への支援に感謝する大会になりました。



全老連から県老連に贈られた「復興応援旗」。応援メッセージが私たちに励まします

第17回宮城県シニアスポーツ大会

【日時】平成24年10月31日(水)【会場】大崎市『スポーツピアまつやま』

平成23年の東日本大震災は、沿岸部を中心に甚大な被害をもたらし、老人クラブの組織と活動にも今なお大きな影響を及ぼしています。

全国の老人クラブからいただいた多くのご支援に因應するために、県内各市町村老連が一丸となった老人クラブ再興・復興への取り組みが必要であり、その活動が一日も早く軌道に乗ることを目指しています。

本大会は、開催の目的である「高齢者向けスポーツを通じた高齢者の健康保持増進と相互の親善交流」を図ることはもちろん、私たちが元気にスポーツで汗を流すことにより、県内外のご支援をいただいた多くの方々に感謝の気持ちを伝えようと開催されました。

【主催】宮城県老人クラブ連合会
【共催】大崎市老人クラブ連合会
【競技結果】

■ゲートボールの部

〈優勝〉気仙沼市老人クラブ連合会
〈準優勝〉大和町老人クラブ連

合会〈第3位〉富谷町老人クラブ連合会

■グラウンドゴルフの部

●男子の部〈優勝〉登米市老人クラブ連合会 塚本國夫〈準優勝〉石巻市老人クラブ連合会 奥山仁太郎〈第3位〉石巻市老人クラブ連合会 熊谷凱夫〈第4位〉多賀城市老人クラブ連合会 鈴木誠
〈第5位〉気仙沼市老人クラブ連合会 小野寺定夫

●女子の部〈優勝〉大郷町老人クラブ連合会 赤間ちよ子〈準優勝〉岩沼市老人クラブ連合会 大泉ミヨ子〈第3位〉大崎市老人クラブ連合会 畑中ひろ子〈第4位〉東松島市老人クラブ連合会 佐藤あや子〈第5位〉石巻市老人クラブ連合会 三浦さつ子

■ペタンクの部

〈優勝〉栗原市老人クラブ連合会 Aチーム〈準優勝〉栗原市老人クラブ連合会 Bチーム〈第3位〉女川町老人クラブ連合会

平成24年度 老人クラブ健康づくり支援事業

昨年は「東日本大震災」の発生により、気仙沼・本吉地区と石巻地区での開催を断念せざるを得なかった標記研修事業も今年度で10年目を数えることとなり、今後、老人クラブの再興・復興を目指す節目にふさわしく、例年どおり7会場での開催を実施することができました。

今年度は、午前の「健康講座(心と体の健康)」で仙台大学合議制担当副学長・教授の鈴木省三先生の講義を受け、午後は「体育実技指導(体力測定・開眼片足立・長座体前屈・棒反応・握力・5m歩行)」を仙台大学体育学部講師の竹村英和先生の指導と仙台大学学生の実技補助協力を得て、介護予防及び認知症予防となる頭の体操やストレッチ体操をレクリエーションを取り入れながら、全地区において下記のとおり開催しました。

内容については、講師資料『宮城県内高齢者の体力の現状と改善策』により、これまでのデー

タをもとに体力の維持増進のための改善策を考えながら、午後の実技の時間と連動して学ぶことができるように午前の講義が構成され、一貫性のある研修会として高齢者にもわかりやすく受講できたようでした。

午前の講義を踏まえて午後記録の仕方、測定値の低い種目の対応等について指導を受けることで、より理解力が増し、恒例の学生とのレクリエーションも高齢者にとって楽しい時間となりました。

区 分	開催月日
大 崎 地 区	7月2日(月)
気仙沼・本吉地区	7月23日(月)
登 米 地 区	7月30日(月)
石 巻 地 区	9月4日(火)
仙 台 地 区	9月6日(木)
仙 南 地 区	9月10日(月)
栗 原 地 区	9月13日(木)

第 25 回全国健康福祉祭 宮城・仙台 2012

ねんりんピック宮城・仙台 2012

『地域文化伝承館』 開設

平成24年10月13日（土）から15日（月）までの3日間、「伊達の地に 実れ！ねんりん いきいきと」をテーマに宮城県内7市6町を会場に「第25回全国健康福祉祭 宮城・仙台大会」が開催されました。

老人クラブでは、今年で第22回を数える「地域文化伝承館」を13日から15日までの3日間、「夢メッセみやぎ」（仙台市宮城野区）に開設しました。会期中、常陸宮殿下・同妃殿下をはじめ、多数のご来賓・来館者をお迎えし、高齢者の知識や技術、日頃の活動の成果を披露し、高齢者同士や若い世代との交流を深めることができました。

復興支援に感謝を込めて

今回、私たちが主管した「地域文化伝承館」は、東日本大震災による復興への確かな歩みと復興支援への感謝の気持ちを伝えるために「健康に感謝！仲間感謝！」をスローガンに、全国老人クラブ連合会と宮城県老人クラブ連合会、仙台市老人クラブ連合会が感謝とおもてなしの心をもって準備し、開館式を迎えました。

初日の開会式では、全老連齋藤十朗会長、宮城県老連坂本せん会長、仙台市老連橋本典子会長による主管者挨拶に引き続き、

多忙のところ駆けつけていただいた来賓の方々との協力による除幕でスタートを切りました。

【来賓】

厚生労働省大臣官房審議官

西藤公司氏

宮城県保健福祉部長

岡部 敦氏

仙台市健康福祉局長

高橋宮人氏

長寿社会開発センター理事・

事務局長 石黒秀喜氏

ブースもステージも大盛況

「地域文化伝承館」の入場口前には入場を待ちわびる大勢の来館者が列をつくり、10時のオープンと同時に笑顔と感謝の気持ちで出迎えたスタッフに誘導され、館内20の出展ブースへ。会場は熱気に包まれました。

出演ステージでは、同じ被災地である岩手県老連および福島県老連からの友情出演も含め45団体が参加。高齢者の豊かな経験や知識・

地域文化の伝承活動、日頃の健康・生きがいづくりなど多彩な活動の成果を披露しました。

ブースでは、竹細工、凧、木

工品や手芸品、折り紙、まゆ細工など各老人クラブが日頃から取り組んでいる様々な伝承活動や、健康・生きがいづくり活動を披露し来館者とのふれあいや交流、実際の作品づくりの体験を通して同世代や、他世代の人たちとの交流を深めることができました。

ステージでは、マジックやレクダンスをはじめ、宮城・仙台区に伝わる郷土芸能や民俗芸能のほか、被災地からの出演や岩手県、福島県老連などから多彩な出し物があり、266席の観客席は終日満席となり立ち見があるほどの盛況でした。

出演団体の中には餅撒きの演出や、観客席周りの通路まで利用した踊りなどを披露する団体も登場し、客席と一体となったステージに観客席から惜しみない拍手が送られ大いに盛り上がりしました。

また、仙台市老連が用意した「おもてなしお茶席コーナー」では、会場での休憩を兼ねてお点前を受けようとする人たちで大変にぎわっていました。



斎藤全老連会長 挨拶



坂本県老連会長 挨拶



開会式（除幕セレモニー）



開館と同時に入場する観客



会場での餅まき（大衡村老連）



会場は立ち見も出る盛況でした。



ダンボール甲冑の試着（多賀城市老連）



伝統芸能の披露
（大漁唄い込み・松島町老連女性部）



福幸だるま(吊るし雛)の体験、防災紙芝居
実演（気仙沼市老連・仙台市青葉区老連）



無形文化財を披露
（雄勝法印神楽・石巻市老連）



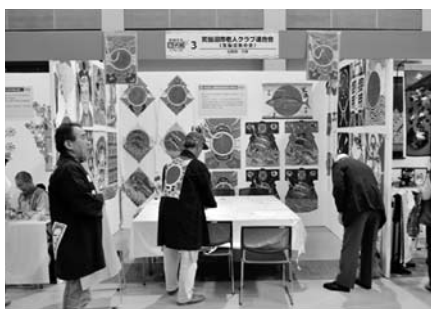
友情出演
（さんさ踊り・岩手県老連滝ノ下さんさ踊り保存会）



友情出演
（お米さんありがとう・福島県老連 玉川村老人クラブ小高寿慶会）



大会マスコットも観覧（むすび丸）



伝統風 気仙沼市老連 気仙沼風の会



竹細工曲輪 大崎市岩出山地区老連

宮城県老人クラブ連合会創立 50 周年記念

第 33 回宮城県老人クラブ大会 七ヶ浜大会

【主 催】 宮城県老人クラブ連合会 七ヶ浜町老人クラブ連合会

【開催日】 平成 24 年 11 月 22 日（木）

【会 場】 「七ヶ浜国際村」大ホール

高まる老人クラブ活動の重要性 絆を深めて組織の拡充をめざす

東日本大震災後、特に大津波の爪痕が残る沿岸部において、地域コミュニティの崩壊が叫ばれています。こうした中、老人クラブの役割の重要性が改めて認識され、コミュニティの再構築に果たす役割に大きな期待が寄せられています。

今大会は、会員一人ひとりがそうした思いを胸に刻む機会ともなりました。

老人クラブは、『老後の幸せを老人自身で創り出そう』を合言葉に、「仲間づくり」「健康づくり」「生きがいづくり」を目的として誕生しました。宮城県老人クラブ連合会は、昭和 37 年に創立。本大会は、創立 50 周年の記念大会となりました。

高齢者が人口の 3 割を占め「高齢者の世紀」といわれる今日、老人クラブ創設の原点をふまえ「新たな絆社会」を創造していくことが求められています。

参加会員約 570 名を数えた本大会のオープニングは、七ヶ浜翠照会の琴伝流大正琴の演奏でした。「青い山脈」「北上夜曲」「氷雨」とおなじみの演奏曲の後の「故郷」では、会場の歌声とひとつになり一気に盛り上がりしました。



熱気あふれる会場

続く〈アトラクションの部〉では、東京を拠点として幅広い高齢者が在籍するフラダンス団体の七ヶ浜教室によるフラダンスの後、七ヶ浜老連による演歌と踊り・七ヶ浜音頭が披露され、みごとな踊りと歌に会場からは盛んな拍手が巻き起こっていました。

続いて行われた〈式典の部〉では、坂本県老連会長が「本大会を通じて老人クラブの重要性を深く認識し、女性リーダーや若手リーダーの養成を進めながら一般高齢者のさらなる参加を呼びかけ、老人クラブの発展に努めるよう最善の努力をしています」と力強く挨拶。来場者もクラブ組織の再構築、発展に思いを新たにしていました。

また、式典ではこれまでクラブ発展に功績があった 34 個人 30 団体が晴れの表彰を受けました。



オープニング



開会の言葉 渡邊副会長



アトラクション フラダンス



七ヶ浜音頭



坂本会長式辞



表彰 老人福祉事業功労

財団法人宮城県老人クラブ連合会役員名簿

平成 24 年 9 月 28 日現在

役員名	氏 名	所 属
会 長	坂 本 せ ん	県 老 連 女 性 委 員 会
副会長	三 塚 昭 悦	登 米 市 老 連
副会長	渡 邊 榮 一	岩 沼 市 老 連
副会長	武 山 萬	石 巻 市 老 連
理 事	古 永 兆 治	塩 釜 市 老 連
理 事	村 上 喜 代 治	気 仙 沼 市 老 連
理 事	川 田 禎 一	白 石 市 老 連
理 事	大 友 清 一	名 取 市 老 連
理 事	鈴 木 勇 男	角 田 市 老 連
理 事	齋 金 助	多 賀 城 市 老 連
理 事	千 葉 恒 夫	栗 原 市 老 連
理 事	大 山 金 雄	東 松 島 市 老 連
理 事	小 原 茂	大 崎 市 老 連
理 事	安 藤 邦 枝	県 南 ブ ロ ッ ク
理 事	渡 邊 正 明	中 央 ブ ロ ッ ク
理 事	但 木 紀	県 北 ブ ロ ッ ク
理 事	不 在	沿 岸 ブ ロ ッ ク
理 事	小 松 洋 吉	東 北 福 祉 大 学
理 事	渡 辺 龍 明	県 長 寿 社 会 政 策 課
理 事	庄 司 典 夫	県 社 会 福 祉 協 議 会
理 事	高 橋 せ つ 子	県 老 連 女 性 委 員 会
理 事	佐 藤 恭 子	県 老 連 女 性 委 員 会
監 事	大 槻 重 蔵	県 南 ブ ロ ッ ク
監 事	大 庭 公 夫	中 央 ブ ロ ッ ク
監 事	木 村 清 男	県 北・沿 岸 ブ ロ ッ ク



大会宣言 武山副会長



閉会のことば 三塚副会長



万歳三唱 渡邊 七ヶ浜町老連会長

平成24年度研修会・セミナー報告

■「若手リーダー研修会」

昨年7月18日に開催（仙台市・ホテル白萩）された「若手リーダー研修会」では、『老人クラブに期待するもの みやぎ高齢者元氣プランから』（宮城県保健福祉部参事兼長寿社会政策課長 渡辺龍明氏）の講演後、①若手高齢者の参加拡大②若手リーダーの活用③若手会員の組織化などについて熱心な意見交換を行いました。

■「女性リーダーセミナー」

昨年8月31日に開催（仙台市・ホテル白萩）された本セミナーでは、宮城県老連女性委員会坂本委員長からの基調報告「老人クラブ女性委員会の動向について」に続き、「地域における老人クラブ女性部会活動」と題して、栗原市老連女性部会の高橋了部長、七ヶ浜町老連女性部会の佐藤セイコ部長の両名から活動事例が発表されました。

講演では、福島県老人クラブ連合会常務理事の渡辺文美氏が

ら東日本大震災で甚大な被害を受けた被災者に対する支援や老人クラブの再生・復興に向けた取り組みを導き出すために「震災と復興・老人クラブの再生」について」の講話が行われ、出席者はメモをとりながら熱心に耳を傾けていました。

■「シルバーリーダー研修会」

昨年12月5日に開催（仙台市・ホテル白萩）された研修会において、宮城県社会福祉協議会地域福祉部次長兼地域福祉課長の田村武暢氏からの講演「震災と復興・高齢者の地域支え合い活動」を拝聴しました。

その後、モデル市町村老連代表の活動発表がありました。

【発表者】

栗原市高清水地区老連 沼倉 登事務局長、大河原町老連 大沼浩雄会長、松島町老連 佐藤純子女性部長、七ヶ浜町老連 佐藤セイコ女性部長、大和町老連シルバーリーダー 大友ときえ氏、美里町老連 鈴木龍彦会長

ケガの老人クラブ傷害保険のご案内

平成24年7月1日改定

（平成24年6月1日以降のお申込みから適用）

クラブ活動型

クラブの行事や活動によく出かけるという方におすすめ

年間掛金
500円

クラブ活動中とその往復途上のケガを補償

年間掛金	クラブ活動型 500円	
ケガをしたときの状況	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合
死亡保険金	50万円	補償なし
後遺障害保険金	50万円	
入院保険金日額（注） （1事故につき30日限度）	1,000円	
通院保険金日額 （1事故につき30日限度）	650円	

さらに充実補償の 年間掛金 1,000円 2,000円 もあります。

総合型

24時間いつでも、どこでもケガが心配という方におすすめ

年間掛金
3,500円

日常生活全般のケガを補償

年間掛金	総合型 3,500円	
ケガをしたときの状況	クラブ活動型 活動中のケガの場合	24時間型 活動中以外のケガの場合
死亡保険金	50万円	115万円
後遺障害保険金	165万円	—
入院保険金日額（注） （1事故につき30日限度）	50万円	—
通院保険金日額 （1事故につき30日限度）	50万円	—
	1,000円	750円
	1,750円	—
	650円	500円
	1,150円	—

さらに充実補償の 年間掛金 5,000円 10,000円 もあります。

（注）手術保険金のお支払い額は、手術の種類に応じて入院保険金日額の10倍、20倍または40倍となります。

☞ 総合型のクラブ活動中のケガの場合は、白 地 + 薄いグレー の合計 黒色 の補償額が支払われます。
☞ 総合型のクラブ活動中以外のケガの場合は、薄いグレー のみの補償額が支払われます。

全国老人クラブ連合会 保険係

03-3597-8770

受付時間 9:30～17:30
（土、日、祝祭日休）

（取扱代理店）有限会社 シニアサービス社 電話番号 03-3597-8768
FAX番号 03-3597-8767

（引）受幹事保険会社 東京海上日動火災保険株式会社

（担当課）医療・福祉法人部 法人第二課 電話番号 03-3515-4144

●この広告は老人クラブ傷害保険（老人クラブ団体傷害保険特約付帯普通傷害保険・普通傷害保険）の概要についてご紹介したものです。詳細は、「募集チラシ（平成24年7月1日始期以降用）」「重要事項説明書」「ご加入の際の注意事項」をお読みください。ご不明な点等がありましたら、取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。全老連保険ホームページ（<http://www.senior-ltd.com/>）でもご確認いただけます。

12-T-00436 平成24年3月作成

南三陸町老人クラブ連合会

全国老人クラブ連合会をはじめ、全国のクラブ会員の皆様から発災後、心温まる物心両面にわたるご支援を頂戴し、衷心より御礼申し上げます。

南三陸町では、東日本大震災により発生した未曾有の大津波により、漁港や民家のみならず、町役場や消防署・警察署、公立病院、県の合同庁舎、JRの駅といったありとあらゆる物が津波にさらわれ、町としてのすべての機能を一瞬にして失いました。

また、多くの人名も奪われ、南三陸町だけで800名を超え

る死者行方不明者を出し、町の人口の5%強にあたる尊い町民の方々が犠牲になりました。まだ200名を超える方々が行方不明という状況です。

家も街も家族・親類・友人をも一気になされた多くの町民は茫然自失し、しばらくの間は復興どころか復旧すら手につかず、ただただ立ちすくむばかりでした。

そのような状況に陥った町民を救っていただいたのは、全国から駆けつけていただいたボランティアの方々や全国の会員の皆様からのご支援でした。

我々が把握しているボランティアさんだけでも、平成24年12月末現在で約9万9,000人に達します。全国の皆様からの支援なしでは、復興へ向けて立ち向かおうとする現在の南三陸町の姿は存在しなかった、といっても過言ではありません。

避難所生活から仮設住宅への入居へと避難生活の状況が変化してくると、今度は独居老人の



仮設住宅での活動「3B体操」（登米市南方町）

孤独死や自殺、という問題が発生しやすい環境となってきました。

そういった問題は、特に高齢者や障害者といった社会的弱者で顕著になってきます。

これは今までの震災などでも多発した非常に重い、大きな課題です。

震災前の南三陸町では、老人クラブが活発に活動し、相互に助け合うコミュニティとして機能していました。

しかし、大津波による避難とその後の仮設住宅への移動で、既存コミュニティは破壊され、各老人クラブも、状況にあわせて組織の再編を余儀なくされて

います。しかし被災された方々、とくに社会的弱者の皆さんへのケアは、行政や公的機関の対応だけでは限界があり、老人クラブのように横のつながりを持つコミュニティの存在は、弱者の孤立化を防ぐためには必須の組織です。

南三陸町では、震災から1年10カ月の間に、23の老人クラブ（会員総数573名）が活動を再開しました。今後、仮設住宅から高台への住居移転、災害復興住宅への入居などが予定され、数年の間に、また居住環境におけるコミュニティの再構築が必要となることが予想されます。そのような局面でも、老人クラブの存在と活動は、大いに期待されております。

全国の老人クラブ会員の皆様には、このような事情をご理解いただき、被災地における老人クラブ活動の維持、推進のために、今後ともご理解ご支援をいただければ幸いです。

【寄稿】

社会福祉法人南三陸町社会福祉協議会 猪又総務課長



ねんりんピック宮城・仙台 2012

「地域文化伝承館」開催成功！

みなさまのご協力に感謝申し上げます

【ステージ出演団体】

10月13日（土）

仙台市若林区南小泉北地区老連
塩竈市老連
仙台市宮城野区岩切地区老連
加美町中新田地区老連
石巻市老連（雄勝法印神楽保存会）
仙台市青葉区老連
岩手県老連（滝ノ下さんさ踊り保存会）
加美町小野田地区老連
仙台市若林区南小泉地区老連
大和町老連
福島県老連（玉川村老人クラブ小高寿慶会）
角田市老連女性部
石巻市老連（石巻ダンベルクラブ）
仙台市太白区生出地区老連
仙台市宮城野区榴岡地区老連

10月14日（日）

仙台市太白区老連
大崎市松山地区老連
仙台市若林区七郷地区老連
大衡村老連
美里町老連（本小牛田長生大学第一東会）
気仙沼市老連（崎浜大漁唄込保存会）
仙台市老連（六和功普及会）
大崎市岩出山地区老連（あざみの会）
仙台市泉区老連（福岡保存会）
亘理町老連（荒浜えんころ節保存会）
仙台市青葉区老連女性部
気仙沼市老連（小鯖神止り七福神舞保存会）
石巻市老連（寺崎はねこ踊り保存会）
柴田町老連（みのり会）
大崎市老連女性部
美里町老連女性部
仙台市太白区長町地区老連
仙台市青葉区中山川平地区老連

10月15日（月）

松島町老連女性部
仙台市青葉区老連（あいあいサークル）
涌谷町老連（日本民謡香湧会）
登米市迫町老連（柳生心眼流甲冑柔術保存会）
仙台市宮城野区原町地区老連
仙台市若林区荒町地区老連
登米市石越町老連（赤谷南部神楽保存会）
仙台市泉区老連女性部
涌谷町老連（涌谷お茶屋節おどり保存会）
富谷町老連（日吉台コーラス）
仙台市老連女性部
仙台市老連（シルバースターズ合唱団）

【ブース出展団体】

栗原市金成地区老連（栗原市金成陶芸愛好会）
仙台市青葉区老連（西部地区）
気仙沼市老連（気仙沼風の会）
仙台市泉区老連
石巻市老連
仙台市青葉区老連（堤人形工房）
仙台市青葉区老連（みちのく水石会）
大崎市岩出山地区老連
栗原市瀬峰地区老連
多賀城市老連（山王さざん花会）
登米市米山町老連
仙台市老連（女性部）
栗原市一迫地区老連
美里町老連（本小牛田長生大学第一東会）
仙台市太白区老連（秋保地区）
仙台市太白区老連（東中田地区）
仙台市太白区老連（生出地区）
仙台市青葉区老連
大河原町老連
気仙沼市老連
仙台市青葉区老連
お茶席コーナー
仙台市老連

【参考出展】

山元町老連

